

第15回(令和4年度 第2回)

和泉市立総合医療センター 経営評価委員会

次 第

日時：令和5年3月27日(月)午後1時00分～
場所：和泉市立総合医療センター 3階講堂

1. 開 会

2. 議 題

- ①令和4年度第14回(前回)の指摘事項及び回答について … (資料1)
- ②令和4年度 運営状況(4月～12月)について … (資料2)
- ③令和4年度 進行管理(PDCA)チェックシート
兼経営評価シート(4月～12月)について … (資料3)
- ④令和5年度 和泉市立総合医療センター 事業計画書(案) … (資料4)
について

<資 料>

委員・出席者名簿

資料1 令和4年度第14回(前回)の指摘事項及び回答

資料2 令和4年度運営状況(4月～12月)

資料3 令和4年度 進行管理(PDCA)チェックシート兼経営評価シート
(4月～12月)

資料4 令和5年度 和泉市立総合医療センター 事業計画書(案)

<参考資料>

参考資料1 和泉市消防本部 救急搬送件数(4月～12月)

参考資料2 診療科別 紹介患者数(4月～12月)

参考資料3 診療科別 逆紹介患者数(4月～12月)

参考資料4 診療科別単価 前年度比較(4月～12月)

参考資料5 診療科別待ち時間(4月～12月)

委員名簿

委員長

(敬称略)

氏 名	所 属
高杉 豊	公益財団法人 大阪府保健医療財団 理事長 公益財団法人 大阪国際がん治療財団 理事長

委員

(敬称略・50音順)

氏 名	所 属
鹿島 洋一	和泉市医師会監事 特定医療法人新仁会 新仁会病院 理事長
木村 佳弘	桃山学院大学 経済学部 経済学科 准教授
辻 幸代	関西医療大学 保健看護学部 学部長・学科長
露口 六彦	税理士法人パートナーズ関西 代表(会長) 税理士
吉岡 敏治	森ノ宮医療大学 副学長

出席者名簿

和泉市立総合医療センター（指定管理者）

（敬称略・順不同）

氏 名	所 属
村上 城子	和泉市立総合医療センター 総長
松下 晴彦	和泉市立総合医療センター 病院長
森 陽子	和泉市立総合医療センター 副看護部長
岩谷 理佳子	和泉市立総合医療センター 副看護部長
澤村 明子	和泉市立総合医療センター 副看護部長
隈崎 聰美	和泉市立総合医療センター 医療安全室長
竹原 浩二	和泉市立総合医療センター 事務部長
櫛引 健一	和泉市立総合医療センター 事務長
古賀 栄司	和泉市立総合医療センター 事務次長
横田 泰二	和泉市立総合医療センター 総務課 課長補佐
八巻 真弓	和泉市立総合医療センター 医事課 課長補佐
大西 拓也	和泉市立総合医療センター 総務課 係長
山西 護	和泉市立総合医療センター 総務課 主任
浦山 聰	岸和田徳洲会病院 事務部長

和泉市

氏 名	所 属
吉田 康人	副市長
岩井 幸	子育て健康部長
藤原 一也	子育て健康部健康づくり推進室長
清水 重利	子育て健康部健康づくり推進室病院経営管理担当課長
米田 尚礼	子育て健康部健康づくり推進室病院経営管理担当総括主幹
若松 良和	子育て健康部健康づくり推進室病院経営管理担当総括主査

資料 1

【令和4年度第14回（前回）の指摘事項及び回答】

No.	指摘	改善策
1	整形外科の平均在院日数を下げるることはできないのか。	リハビリを行っている地域の病院などに逆紹介を行えるよう、病診連携の調整を行っている。
2	救急の受け入れが減っている。体制等を見直しする必要があるので は。	救急受け入れは大きな課題だと認識している。 令和4年4月には救急専門医を1人確保した。引き続き、医師確保及び体制整備の強化に取り組み受け入れ件数の増加に努める。
3	待ち時間について、診療科ごとの待ち時間を示してほしい。	今回の評価委員会より、診療科ごとの待ち時間一覧を作成。 参考資料5を参照。
4	診察の順番が来ると呼び出してくれる、「呼び出しアプリ」などの導入の検討や他の医療機関などの先進事例なども確認しては。	令和5年1月より通院支援システムアプリ「HOSPA」を小児科でプレ導入。今後、全診療科に導入できるよう進めている。
5	病床稼働率が100%を超える状況となっている。 95%程度にとどめるべきでは。	新型コロナの重点医療機関であり、コロナ患者の入院増加に伴って、特に稼働率が上がる傾向ではあるが、救急診療等とのバランスを考慮しながら運営を行っている。
6	紹介率、逆紹介率の数値はもっと向上させることができると思うが。	地域医療支援病院の承認も受けていることから、これまで以上に率を向上できるよう地域の医療機関にも出向き連携を図っている。 資料2 6ページ参照。
7	医療事故のアクシデントが昨年度より増えている。 再度、医療安全対策に取り組むべきでは。	月1回、医療安全管理委員会、リスクマネージャー会を開催し、これまで発生した事案について話し合い、改善策を導き出し安全対策に取り組んでいる。

資料2

令和4年度 運営状況(4月～12月)

目 次

1. 令和4年度 事業計画	1
2. 医療機能に係る指標	1
(1). 和泉市立病院 新改革プラン数値目標分		
①患者数の前年度実績との比較		
②月別1日あたり患者数の推移(入院)		
③月別1日あたり患者数の推移(外来)		
④診療科別1日あたり患者数(入院)(4月～12月)		
⑤診療科別1日あたり患者数(外来)(4月～12月)		
⑥病床稼働率(4月～12月)		
⑦診療単価(4月～12月)		
⑧救急患者受入数(4月～12月)		
⑨和泉市消防本部 救急搬送(4月～12月)		
(2). その他、医療機能に係る指標		
①平均在院日数(4月～12月)		
②紹介率、逆紹介率(4月～12月)		
③手術者数(4月～12月)		
④健診(4月～12月)		
⑤医療事故等への対応(4月～12月)		
3. 職員数	8
①職員数の推移(非常勤職員含む)		
4. 患者サービス向上に係る取り組み	9
①取り組み状況		
②提案ポストへの投書件数		
5. 経営健全化に係る指標	11
①損益計算書(4月～12月)		
②貸借対照表		

1. 令和4年度 事業計画

・主な取り組み

医師確保、急性期医療の拡充、がん医療を中心とした高度専門医療の拡大、
医療機器整備等により医療機能強化

・1日あたり患者数

入院 292人(退院日の患者数を含む)

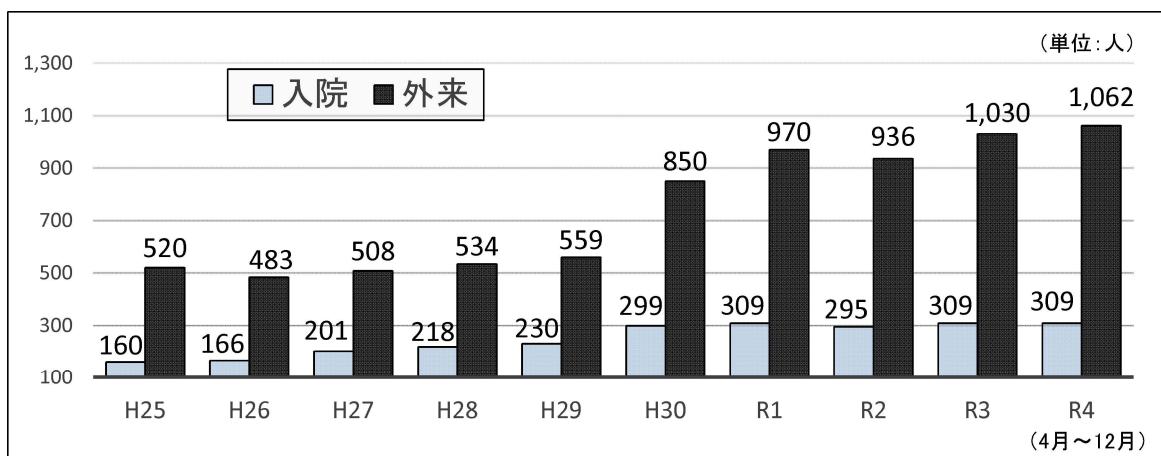
外来 970人

2. 医療機能に係る指標

(1). 和泉市立病院 新改革プラン数値目標分

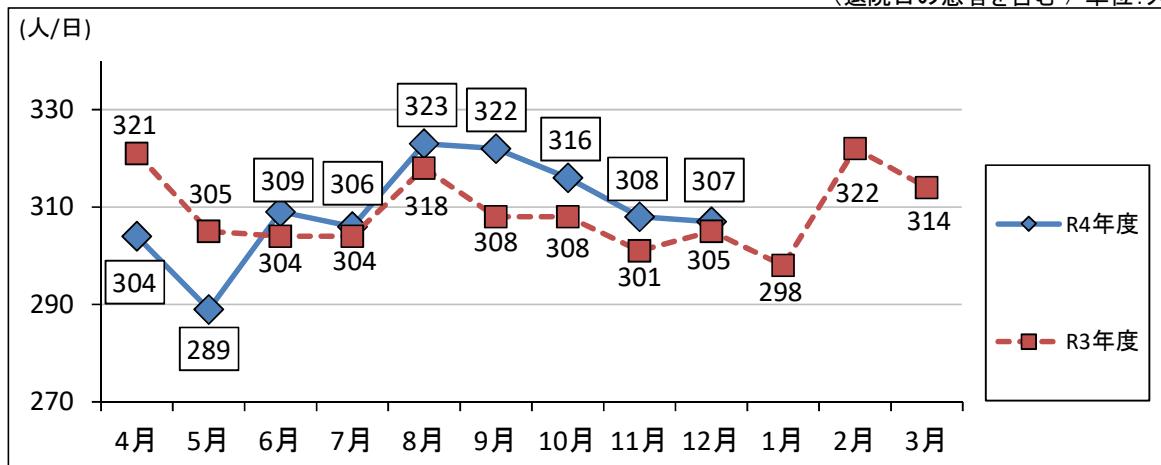
①患者数の前年度実績との比較

	実 績(4月～12月分)			令和4年度 新改革プラン目標値 (4月～3月)
	令和4年度	令和3年度	比較(増減率)	
1日当たり入院患者数 (退院日の患者を含む)	309人	308人	1人 (+0.3%)	292人
1日当たり外来患者数	1,062人	1,017人	45人 (+4.4%)	970人



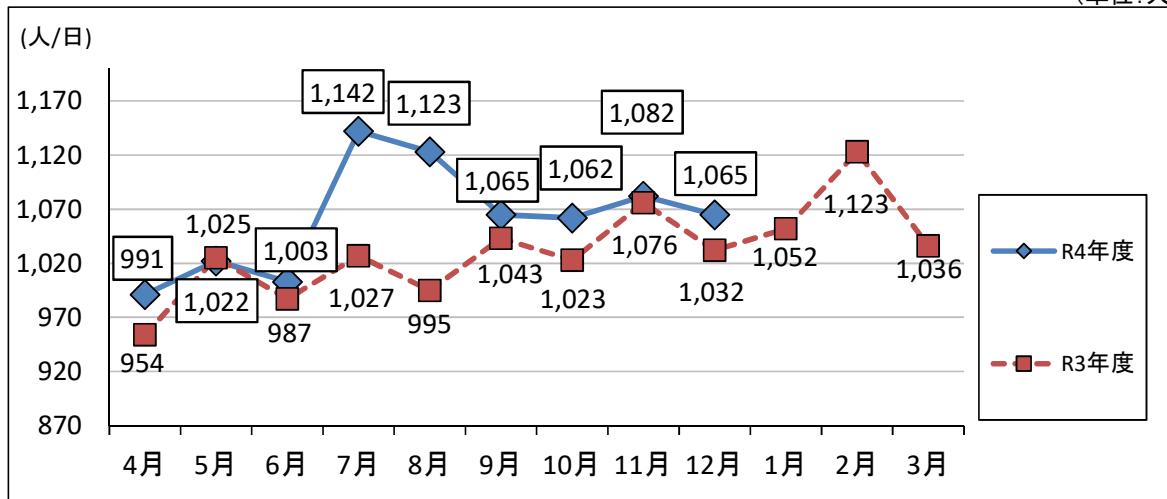
②月別1日あたり患者数の推移(入院)

(退院日の患者を含む / 単位:人)



③月別1日あたり患者数の推移(外来)

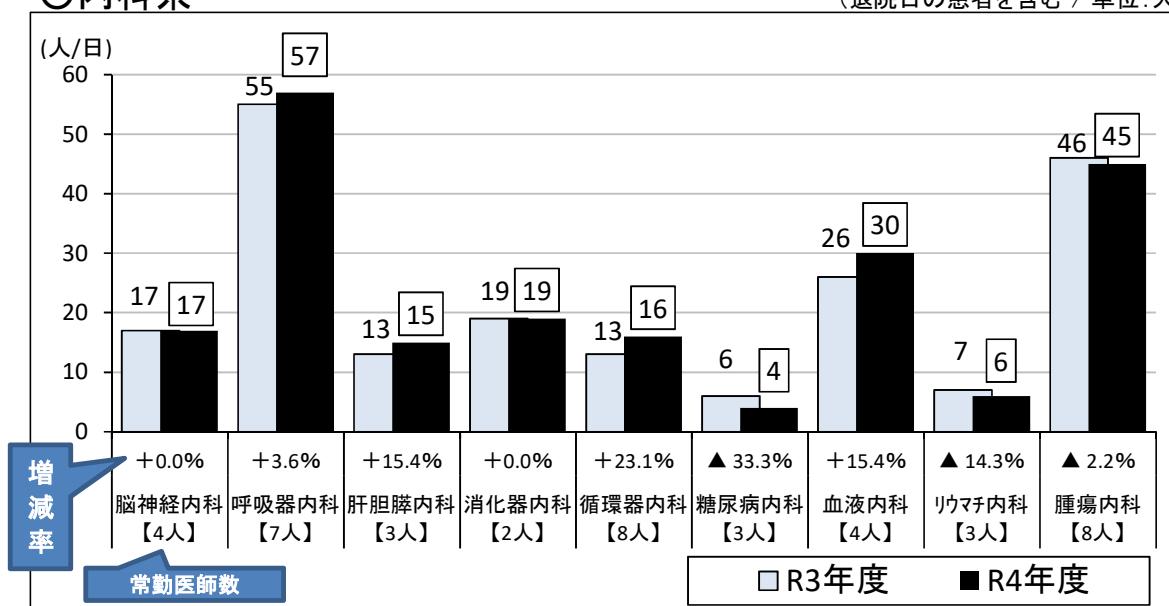
(単位:人)



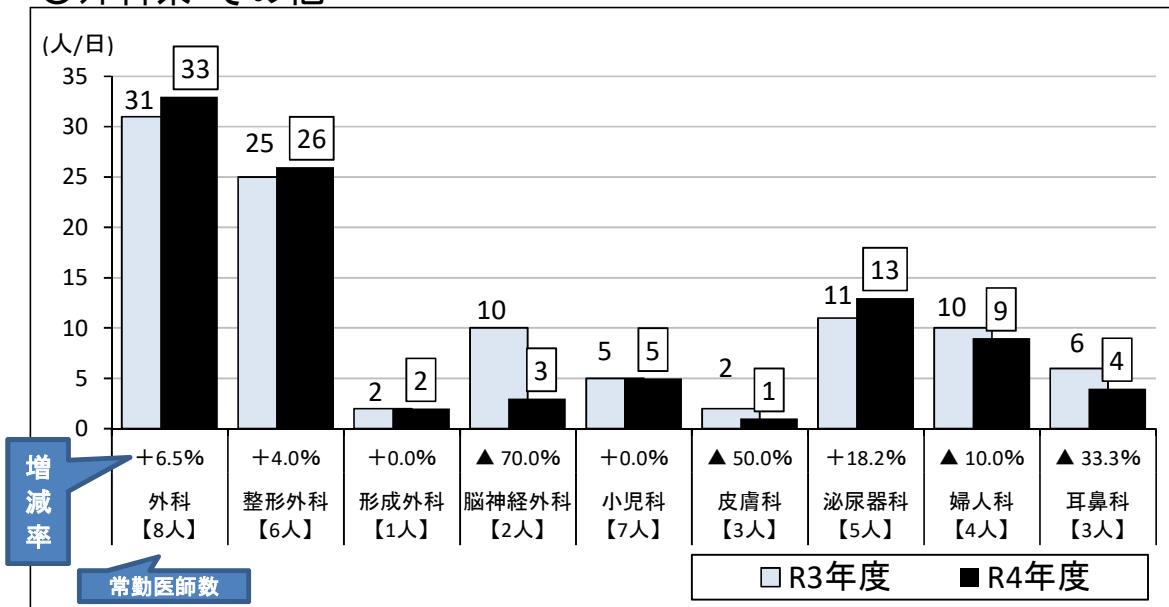
④診療科別 1日あたり患者数(入院)(4月～12月)

○内科系

(退院日の患者を含む / 単位:人)

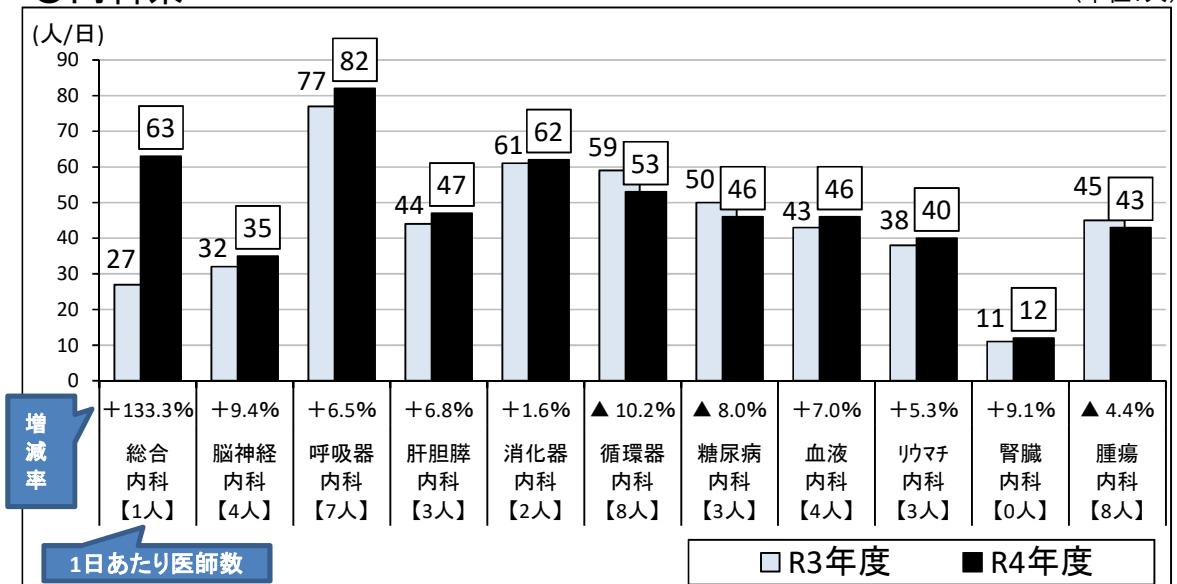


○外科系・その他

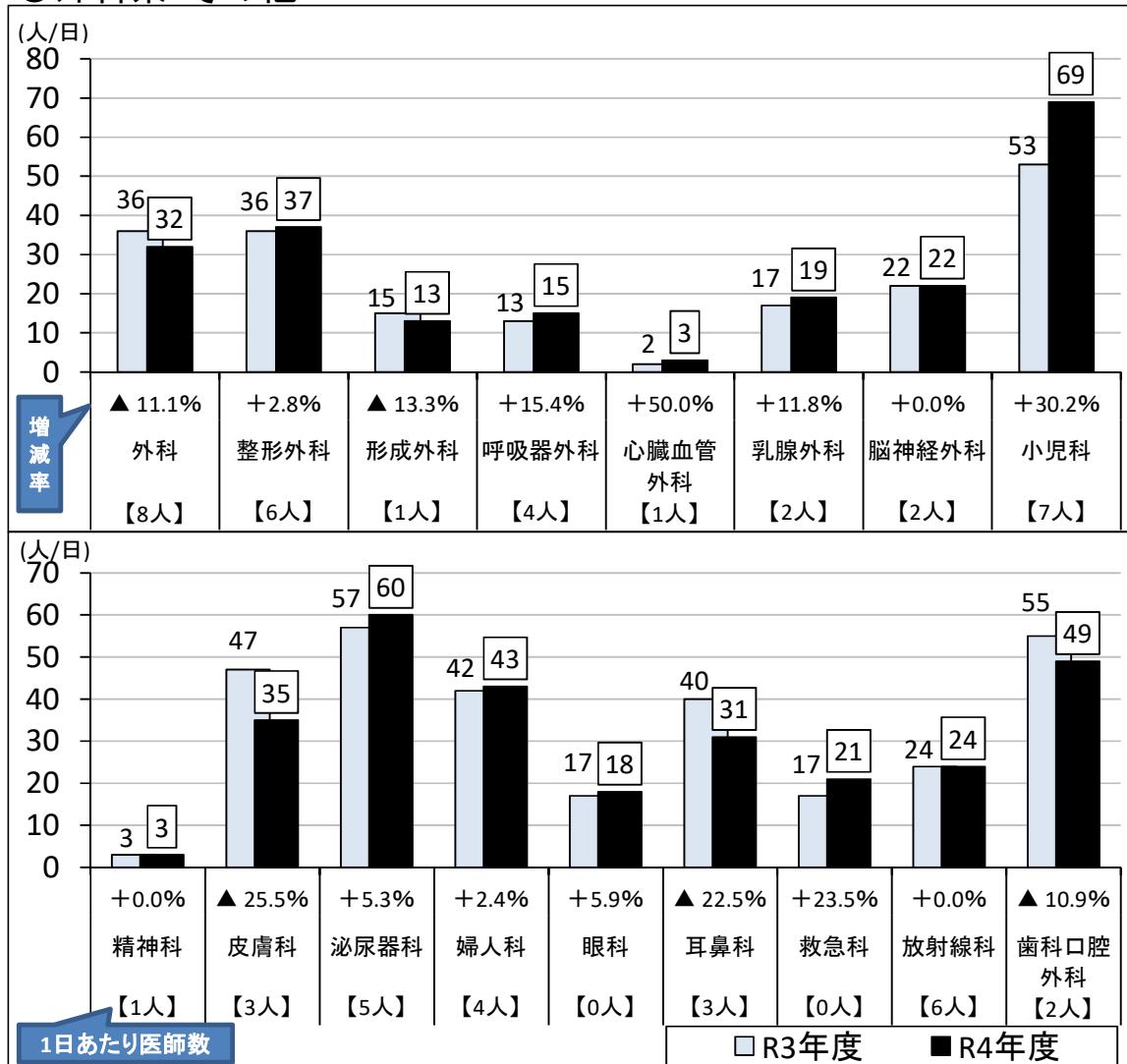


⑤診療科別1日あたり患者数(外来)(4月～12月)

○内科系



○外科系・その他



※診療日が5日未満の診療科は、実診療日にて算出しています。

⑥病床稼働率(4月～12月)

(単位:人、床、日、%)

年度	稼働率	令和4年度新改革 プラン目標値 (4月～3月)	延患者数 ÷ (許可病床数 × 日数) × 100
令和4年度	100.8 %	95.0 %	85,100 ÷ (307 × 275) × 100
令和3年度	100.4 %	95.0 %	84,750 ÷ (307 × 275) × 100

⑦診療単価(4月～12月)

	実 績			令和4年度 新改革プラン目標値 (4月～3月)
	令和4年度	令和3年度	比較(増減率)	
入院診療単価 (退院日の患者を含む)	76,662円	71,760円	4,902円 (+6.8%)	73,000円
外来診療単価	23,063円	21,853円	1,210円 (+5.5%)	23,000円

⑧救急患者受入数(4月～12月)

(単位:人、%)

診療科	実 績		前年度 比較	実 施 状 況	
	令和4年度	令和3年度			
小児科	2,097	1,766	+331 (+18.7)	毎週火曜日19:00～翌6:00 第2,4,5土曜日23:00～翌6:00	
内科系 外科系	8,832	7,054	+1,778 (+25.2)	終日実施	
合 計	10,929	8,820	+2,109 (+23.9)		
搬送者数	2,718	2,211	+507 (+22.9)		
搬送者の うち入院	879 (32.3%)	842 (38.1%)	37 (+4.4)		

⑨和泉市消防本部 救急搬送(4月～12月)

(単位:人、%)

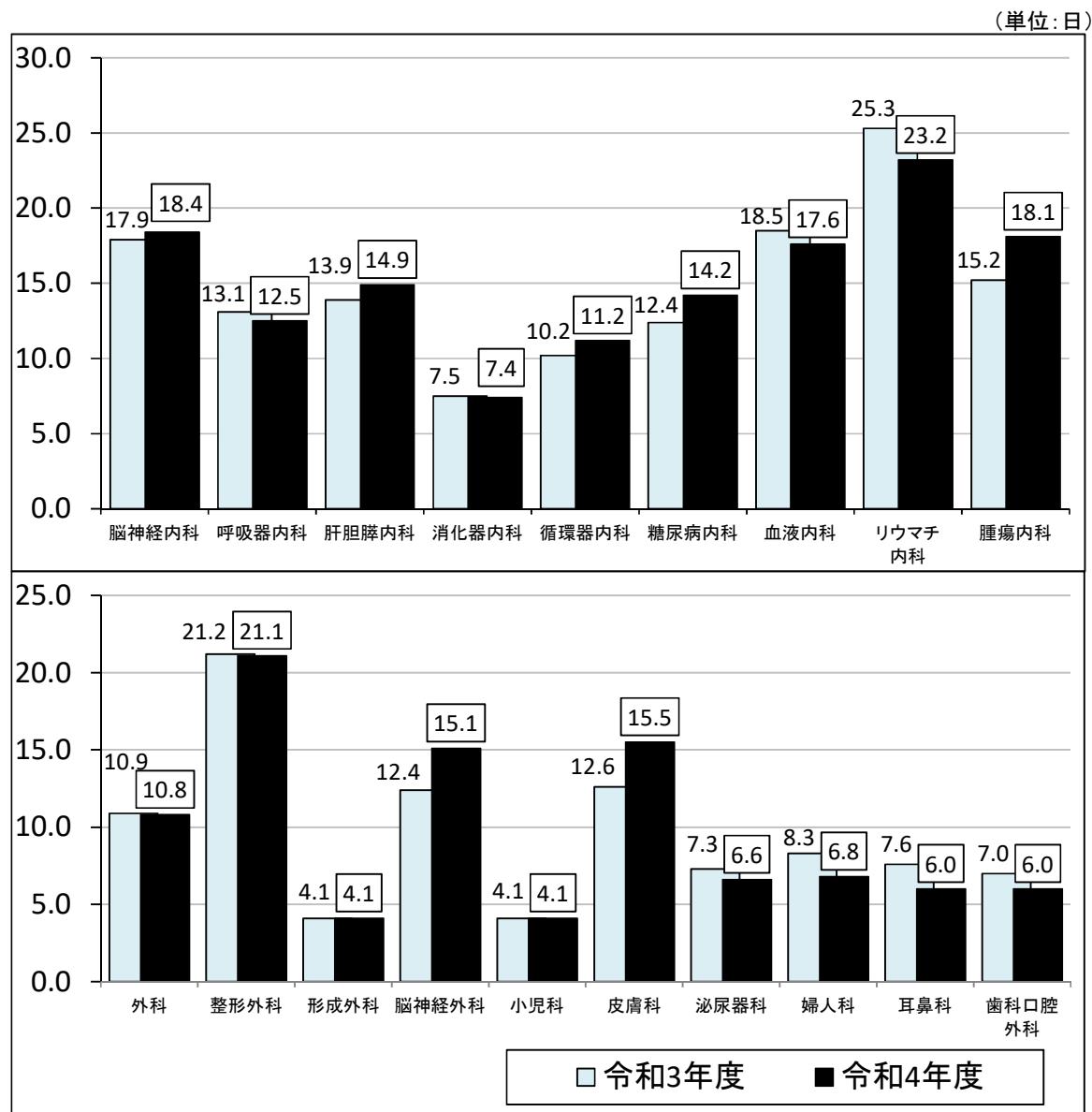
区分	令和4年度	搬送率	令和3年度	搬送率	前年度比較 (増減率)	令和4年度 新改革プラン目標値 (4月～3月)	搬送率
和泉市立 総合医療センター	1,666	22.8	1,390	22.5	+276 (+19.9)	2,240 (年間)	28.0% (年間)
市内民間病院	2,924	40.0	2,689	43.6	+235 (+8.7)		
市 外	2,720	37.2	2,094	33.9	+626 (+29.9)		
合 計	7,310	/	6,173	/	+1,137 (+18.4)	(和泉市消防本部統計より)	

(2). その他、医療機能に係る指標

①平均在院日数(4月～12月)

(単位:日)

	令和4年度	令和3年度	増減
全診療科平均	12.1	11.8	0.3



②紹介率、逆紹介率(4月～12月)

	令和4年度	令和3年度	差
紹介率	72.5 %	68.5 %	+4.0%
逆紹介率	91.0 %	84.5 %	+6.5%

③手術件数(4月～12月)

(単位:人、%)

指 標	令和4年度 うち全麻	令和3年度 うち全麻	差 うち全麻	増減率(%)	
				うち全麻	うち全麻
手術数	外 科 736 685	664 615	+72 +70	+10.8	11.4
	整形外科 336 331	306 296	+30 +35	+9.8	11.8
	婦人科 204 197	187 175	+17 +22	+9.1	12.6
	皮膚科 42 1	57 2	▲15 ▲1	▲ 26.3	▲ 50.0
	形成外科 235 46	223 51	+12 ▲ 5	+5.4	▲ 9.8
	泌尿器科 355 155	288 75	+67 +80	+23.3	106.7
	脳神経外科 7 1	55 43	▲48 ▲ 42	▲ 87.3	▲ 97.7
	耳鼻いんこう科 110 1	130 117	▲20 ▲ 116	▲ 15.4	▲ 99.1
	歯科口腔外科 89 89	64 64	+25 +25	+39.1	39.1
	計 2,114 1,506	1,974 1,438	+140 +68	+7.1	4.7

④健診(4月～12月)

(単位:人、%)

指 標	令和4年度	令和3年度	差	増減率
人間ドック	1,594	1,257	337	+26.8%
特定健診	901	865	36	+4.2%

⑤医療事故等への対応(4月～12月)

○レベル別件数

(単位:件)

	レベル	職 種	令和4年度	令和3年度	事例(本年度)
インシデント	0 ~ 3a	医師	104	101	<ul style="list-style-type: none"> ・好事例報告 ・転倒・転落後様子観察 ・点滴流量間違い ・内服薬服薬間違い ・点滴ルート自己抜去 ・胃管・バルーンカテーテル自己抜去 ・患者誤認(検査案内など) ・血糖測定・採血取り忘れ等
		看護師	1,534	1,397	
		薬剤師	63	55	
		放射線技師	56	47	
		臨床検査技師	24	21	
		リハビリ	45	26	
		その他	167	154	
		計	1,993	1,801	
アクシデント (医療事故)	3b	医師	6	13	<p><重複事例報告あり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・転倒・転落・体位変換などによる骨折など 10件 ・処置・手術関連合併症 4件 ・治療・経過観察中の状態変化 4件
		看護師	11	17	
		薬剤師	0	0	
		放射線技師	0	1	
		臨床検査技師	0	0	
		リハビリ	1	1	
		その他	0	0	
		計	18	32	
	4a～5	医師	0	1	
		看護師	0	3	
		薬剤師	0	0	
		放射線技師	0	0	
※その他内訳: 栄養科、ME	計 (3b～5)	臨床検査技師	0	0	
		リハビリ	0	0	
		その他	0	0	
		計	0	4	
		医師	6	14	
		看護師	11	20	
		薬剤師	0	0	
		放射線技師	0	1	

○種類別件数(4月～12月)

(単位:件)

概要	令和4年度	令和3年度	増減
薬剤	594	500	94
輸血	10	12	▲ 2
治療・処置	77	78	▲ 1
医療機器等	74	52	22
ドレーン・チューブ	163	158	5
検査	228	222	6
療養上の世話	359	352	7
その他	506	463	43
合計	2,011	1,837	174

(参考) 医療事故レベル

インシデント	0	エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった
	1	患者への害はなかった(何らかの影響は与えた可能性は否定できない)
	2	処置や治療を行わなかった(患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性が生じた)
	3a	単純な処置や治療を要した(消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)
アクシデント	3b	濃厚な処置や治療を要した(バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など)
	4a	永続的な障害が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題を伴わない
	4b	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う
	5	死亡(原疾患の自然経過によるものを除く)

3. 職員数

①職員数の推移(非常勤職員含む)

■職員数の推移

(単位:人)

	R4.12	R4.4	R3.4	R2.4	H31.4	H30.4
医師	136.76	133.20	136.88	125.64	110.45	86.10
常勤	121	121	120	111	97	82
非常勤 (常勤換算)	135 (15.76)	121 (12.20)	129 (16.88)	127 (14.64)	113 (13.45)	25 (4.10)
看護部	381.95	398.50	391.07	377.86	310.93	273.30
常勤	354	370	363	359	292	247
非常勤 (常勤換算)	34 (27.95)	35 (28.50)	32 (28.07)	32 (18.86)	26 (18.93)	30 (26.30)
医療技術職	145.82	149.80	135.97	125.25	116.10	81.41
常勤	140	144	130	120	113	78
非常勤 (常勤換算)	8 (5.82)	8 (5.80)	9 (5.97)	8 (5.25)	6 (3.10)	6 (3.41)
合計	664.53	681.50	663.92	628.75	537.48	440.81
常勤	615	635	613	590	502	407
非常勤 (常勤換算)	177 (49.53)	164 (46.50)	170 (50.92)	167 (38.75)	145 (35.48)	61 (33.81)

※ 看護部は看護師免許取得者のみ。

※ 常勤換算人員は 勤務時間 ÷ (1日の勤務時間(常勤) × 月間勤務日数(常勤))

7.5 時間

21.67 日

■常勤医師の状況

(単位:人)

	R4.12	R4.4	R3.4	R2.4	H31.4	H30.4
内科	1	1	1	1	0	1
循環器内科	10	9	8	7	4	5
呼吸器内科	9	9	7	8	7	5
消化器内科(内視鏡)	3	3	2	3	4	5
肝胆膵内科	3	3	3	3	3	3
血液内科	4	4	4	4	4	3
内分泌・糖尿病内科	2	2	4	4	4	2
脳神経内科	3	3	4	3	2	3
腫瘍内科	8	9	8	8	8	5
緩和ケア内科	1	1	1	1	1	1
外科	15	15	15	13	11	9
消化器外科	8	8	8	8	6	4
心臓血管外科	1	1	1	1	1	1
乳腺外科	2	2	2	1	1	2
呼吸器外科	4	4	4	3	3	2
形成外科	2	1	1	1	1	1
整形外科	5	6	6	6	6	6
小児科	8	8	7	6	6	6
脳神経外科	1	1	2	2	3	2
泌尿器科	5	5	5	5	4	3
皮膚科	3	3	3	3	3	2
婦人科	4	4	4	5	4	4
耳鼻いんこう科	2	2	3	2	1	2
リウマチ内科	3	3	3	3	3	2
救急科	1	1	0	0	0	0
放射線科	6	6	6	6	6	5
精神科	1	1	1	1	0	0
麻酔科	3	3	5	4	4	2
病理診断科	3	3	3	2	1	1
歯科口腔外科	2	2	2	2	2	0
研修医他	13	13	12	8	5	4
	121	121	120	111	97	82

4. 患者サービス向上に係る取り組み

①取り組み状況

サービス	時期	主な内容
出前講座・医療講演 【継続】	4月～	健康づくりのためにより深い知識・情報を提供できるよう「生活習慣病シリーズ」や「女性の健康シリーズ」と題し、テーマに沿った演題を継続して発信した。また、市内3校（計7回）で児童を対象とした「いのちの授業」を行うほか、教員を対象とした「エピペン講習会」や「一次救命処置講習会」を行い、医療と教育現場の連携強化を図った。
第3回 和泉の地域医療を考えるシンポジウム 【継続】	10月	令和4年10月15日（土）に「治療と仕事の両立支援推進のための今後の取り組み」をテーマに、和泉市内の医療、行政、企業代表者を交え講演会並びに意見交換会を開催した。制度やサポート体制についての情報提供や、企業の取組事例を紹介。各機関の連携が必要不可欠であることを認識する機会となつた。
災害時医療訓練 【継続】	11月	夜間に震度7の地震が発生した想定で、令和4年11月8日（火）に災害訓練を実施。45人の職員が参加し、限られた職員数での初期対応、衛星電話・安否確認システムを用いて職員募集及び職員配置、災害対策本部の立ち上げ、EMISへの入力、院内外の被害状況把握、救急外来の運営についての訓練を行つた。

②提案ポストへの投函件数

(単位:件)

区分	令和4年度	令和3年度	主な内容例
総件数	178	176	
お礼	37	39	<ul style="list-style-type: none"> ■整形外科外来に設置のヒップバーのお陰で楽に立ち上がることができるのでありがたい。 ■全身麻酔の手術後、「体調はいかがですか?」との電話連絡を頂いた。優しい心遣いに感激した。
苦情・要望等	141	137	
設備	35	26	<ul style="list-style-type: none"> ■3階に子ども用オムツ交換台が無く不便。 ⇒3階一か所設置した。 ■音姫が付いているトイレとそうでないトイレがある。 ⇒付いていないトイレ全てに設置した。 ■洗面所で洗顔をしたくてもお湯が出ない。 ⇒お湯の温度に設定されているかを確認し、出ていない洗面があればすぐに対応する。
接遇	47	33	<ul style="list-style-type: none"> ■外来待ち時間が長すぎる。 ⇒待ち時間を軽減できるよう、令和5年1月より通院支援システムアプリ「HOSPA」を小児科で導入。令和5年度中には全診療科で本格実施予定。 ■大部屋でのテレビや携帯電話のマナーが悪い患者がいる。 ⇒注意喚起のポスターを掲示し、スタッフ教育も同時に行った。
その他	59	78	<ul style="list-style-type: none"> ■給湯器を設置してほしい。 ⇒感染対策上難しいため、コンビニエンスストアにペットボトルのお湯を販売してもらうよう対応した。 ■うどんが美味しい。 ⇒嗜好調査の結果でもうどんが低評価であることから、今後献立を変更します。

5. 経営健全化に係る指標

①損益計算書(4月～12月)

(単位:千円)

科 目	令和4年度 (a)	令和3年度 (b)	前年度比 (a)-(b)	増減率 %
医業収益 (A)	11,325,234	10,571,586	753,648	7.1
入院収益	6,523,905	6,081,628	442,277	7.3
外来収益	4,530,567	4,112,756	417,811	10.2
その他医業収益	270,762	377,202	▲ 106,440	▲ 28.2
うち室料差額収益	99,954	110,814	▲ 10,860	▲ 9.8
うち文書料・その他	268,411	351,157	▲ 82,746	▲ 23.6
うち保険等査定減	▲ 97,603	▲ 84,769	▲ 12,834	15.1
医業費用 (B)	9,443,998	9,063,145	380,853	4.2
給与費	4,715,214	4,579,514	135,700	3.0
材料費	3,660,802	3,396,991	263,811	7.8
委託費	459,003	472,671	▲ 13,668	▲ 2.9
経費	335,610	296,485	39,125	13.2
設備関係費	262,858	308,314	▲ 45,456	▲ 14.7
研究研修費	10,511	9,170	1,341	14.6
医業損益 (A)-(B)	1,881,236	1,508,441	372,795	24.7
医業外収益 (C)	281,215	739,131	▲ 457,916	▲ 62.0
うち運営費補助金収益	89,705	526,665	▲ 436,960	▲ 83.0
うちその他医業外収益	191,510	212,466	▲ 20,956	▲ 9.9
医業外費用 (D)	563,853	285,148	278,705	97.7
経常損益 ((A)+(C))-(B)+(D))	1,598,598	1,962,424	▲ 363,826	▲ 18.5
臨時収益 (E)	0	0	0	-
臨時費用 (F)	13,223	10,507	2,716	-
税引前利益 ((A)+(C)+(E))-(B)+(D)+(F))	1,585,375	1,951,917	▲ 366,542	▲ 18.8
医業収支比率 (A)÷(B)×100	119.9	116.6	3.3	
経常収支比率 ((A)+(C))÷((B)+(D))×100	116.0	121.0	▲ 5.0	
給与費率 (給与費)÷(A)×100	41.6	43.3	▲ 1.7	
材料費率 (材料費)÷(A)×100	32.3	32.1	0.2	
経常収支比率 新改革プラン目標値(R4)	109.0			

(うち医業費用明細) (4月～12月)

(単位:千円、%)

科 目	令和4年度		令和3年度		前年度比 (a)-(b)	増減率 %
	(a)	構成比 (%)	(b)	構成比 (%)		
医業費用	9,443,998	100.00	9,063,145	100.00	380,853	4.2
給与費	4,715,214	49.93	4,579,514	50.53	135,700	3.0
うち常勤職員給与	2,834,201	30.01	2,822,486	31.14	11,715	0.4
うち非常勤職員給与	614,705	6.51	602,581	6.65	12,124	2.0
うち法定福利費	502,466	5.32	486,585	5.37	15,881	3.3
うち賞与	657,941	6.97	568,095	6.27	89,846	15.8
材料費	3,660,802	38.76	3,396,991	37.48	263,811	7.8
うち医薬品費	2,511,204	26.59	2,346,249	25.89	164,955	7.0
うち医療消耗品費	703,886	7.45	654,989	7.23	48,897	7.5
うち検査材料費	286,161	3.03	209,973	2.32	76,188	36.3
委託費	459,003	4.86	472,671	5.22	▲ 13,668	▲ 2.9
うち検査委託費	103,985	1.10	75,862	0.84	28,123	37.1
うち給食委託費	50,933	0.54	50,933	0.56	0	0.0
うち医事委託費	8,034	0.09	7,159	0.08	875	12.2
うち清掃委託費	50,126	0.53	50,198	0.55	▲ 72	▲ 0.1
うち警備委託費	18,362	0.19	20,460	0.23	▲ 2,098	▲ 10.3
うち労務委託費	26,535	0.28	27,774	0.31	▲ 1,239	▲ 4.5
うち事務委託費	49,259	0.52	59,532	0.66	▲ 10,273	▲ 17.3
経費	335,610	3.55	296,485	3.27	39,125	13.2
うち消耗品費	13,052	0.14	13,369	0.15	▲ 317	▲ 2.4
うち事務用品費	15,944	0.17	14,454	0.16	1,490	10.3
うち光熱水道費	124,991	1.32	76,752	0.85	48,239	62.9
うち広告宣伝費	6,591	0.07	8,374	0.09	▲ 1,783	▲ 21.3
うち募集費	9,061	0.10	4,578	0.05	4,483	97.9
うち保険料	9,835	0.10	30,758	0.34	▲ 20,923	▲ 68.0
うち寄付金	48,450	0.51	47,438	0.52	1,012	2.1
うち支払手数料	34,979	0.37	33,905	0.37	1,074	3.2
設備関係費	262,858	2.78	308,314	3.40	▲ 45,456	▲ 14.7
うち医療機器等リース・レンタル料	70,480	0.75	134,724	1.49	▲ 64,244	▲ 47.7
うち減価償却費	44,528	0.47	54,007	0.60	▲ 9,479	▲ 17.6
うち修繕費	35,914	0.38	25,902	0.29	10,012	38.7
うち機器保守料	191,205	2.02	172,725	1.91	18,480	10.7
研究研修費	10,511	0.11	9,170	0.10	1,341	14.6

②貸借対照表

(単位:千円)

科 目	R4.12.31現在(A)	R3.12.31現在(B)	増減(A)-(B)
【 流動資産 】	【 10,724,111 】	【 7,997,192 】	【 2,726,919 】
現金預金	8,163	11,136	▲ 2,973
医業未収入金	2,779,718	2,359,890	419,828
未収金	405,332	262,196	143,136
薬品	100,931	84,985	15,946
診療材料	37,949	25,663	12,286
その他貯蔵品	1,899	1,643	256
前払費用	73,567	71,236	2,331
仮払消費税	509,640	479,952	29,688
貸倒引当金	△ 6,738	△ 13,783	7,045
大阪本部勘定	6,806,671	4,706,673	2,099,998
仮払金	6,264	6,155	109
その他流動資産	715	1,446	▲ 731
【 固定資産 】	【 261,996 】	【 283,883 】	【 ▲ 21,887 】
(有形固定資産)	(238,458)	(258,010)	(▲ 19,552)
建物	128,524	104,520	24,004
構築物	14,046	3,103	10,943
医療機器	80,595	136,781	▲ 56,186
その他器械備品	15,293	13,606	1,687
(無形固定資産)	(15,636)	(17,516)	(▲ 1,880)
他無形固定資産	15,636	17,516	▲ 1,880
(投資他資産)	(7,902)	(8,357)	(▲ 455)
長期貸付金	3,724	6,657	▲ 2,933
その他	4,178	1,700	2,478
【 繰延資産 】	【 13,147 】	【 9,808 】	【 3,339 】
繰延消費税	13,147	9,808	3,339
資 産 合 計	10,999,254	8,290,883	2,708,371
【 流動負債 】	【 2,713,305 】	【 2,266,428 】	【 446,877 】
買掛金	1,315,969	1,263,028	52,941
未払費用	56,134	61,389	▲ 5,255
未払給与	119,894	117,813	2,081
未払金	485,381	197,701	287,680
預り金	127,866	120,097	7,769
前受収益	35	77	▲ 42
仮受金	501,358	460,425	40,933
仮受消費税	55,693	49,563	6,130
賞与引当金	50,975	△ 3,665	54,640
【 固定負債 】	【 359,309 】	【 293,225 】	【 66,084 】
退職給付引当金	359,209	293,125	66,084
その他固定負債	100	100	0
負債の部 計	3,072,614	2,559,653	512,961
【 積立金 】	【 7,926,640 】	【 5,731,230 】	【 2,195,410 】
繰越利益積立金 (うち当期純利益)	7,926,640 (1,585,376)	5,731,230 (1,951,916)	2,195,410 (▲366,540)
純資産の部 計	7,926,640	5,731,230	2,195,410
負 債 純 資 産 合 計	10,999,254	8,290,883	2,708,371

令和4年度 進行管理(PDCA)チェックシート

兼経営評価シート(4月～12月)

評価対象	NO	評価項目	第15回 R4 4-12月	
			自己評価	市評価
運営 (基本的事項)	1	施設利用者数の状況について	10	10
	2	収支計画の達成状況について	10	10
医療サービス	3	必要なスタッフ(医師・看護師等)の確保と人材育成について	9	9
	4	救急医療体制の整備について	7	7
	5	地域医療機関との連携強化について	9	9
	6	高度・専門医療について	8	8
施設利用 サービス	7	待ち時間について	7	7
	8	職員の接遇について	7	7
危機管理	9	災害時医療の体制整備について	8	8
利用者の評価	10	提案ポストや患者アンケート等の意見の対応について	8	8
合計点数			83	83

評点の考え方	点数
優れている	9~10点
できている	7~8点
概ねできている	4~6点
やや劣っている	1~3点
劣っている	0点

評価項目	1	施設利用者数の状況について																
評価	評価		報告日	自己評価	市の評価	委員会												
	令和4年度(4-12月)		R5.3.27	10	10	10												
P(プラン) 令和4年度 事業計画	令和4年度(4~3月) ・1日あたり入院患者数 292人(退院患者含む) (病床稼働率 95.0%) ・1日あたり外来患者数 970人																	
D(実施状況)	<診療実績> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R4実績 (4-12月)</th> <th>R4計画 (4-3月)</th> <th>R3 (4-12月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①1日あたり入院患者数 (病床稼働率)</td> <td>309人 (100.8%)</td> <td>292人 (95.0%)</td> <td>308人 (100.4%)</td> </tr> <tr> <td>②1日あたり外来患者数</td> <td>1,062人</td> <td>970人</td> <td>1,017人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	R4実績 (4-12月)	R4計画 (4-3月)	R3 (4-12月)	①1日あたり入院患者数 (病床稼働率)	309人 (100.8%)	292人 (95.0%)	308人 (100.4%)	②1日あたり外来患者数	1,062人	970人	1,017人
年度	R4実績 (4-12月)	R4計画 (4-3月)	R3 (4-12月)															
①1日あたり入院患者数 (病床稼働率)	309人 (100.8%)	292人 (95.0%)	308人 (100.4%)															
②1日あたり外来患者数	1,062人	970人	1,017人															
C(自己評価の理由)	病床稼働率は100%を超えてる数字となっている。 外来についても、1日平均1,062人と順調な推移である。																	
A(今後の取り組み)	病棟は満床の状態が続いているため、平均在院日数の短縮を工夫し、より多くの患者様に当センターを利用いただけるよう体制を整備する。																	
市のコメント	入院・外来患者数ともに非常に好調である。 引き続き、現状の患者数を維持できるよう努められたい。																	

評価項目	2	収支計画の達成状況について																												
評価		評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会																								
		令和4年度(4-12月)	R5.3.27	10	10	10																								
P(プラン) 令和4年度 事業計画		令和4年度 収支計画(4-3月) 経常収支比率109.0%																												
D(実施状況)		<p><実績> 前年度と比較し、入院・外来患者数、診療単価とともに増加したことから、経常収支比率は116.0%となり、計画値より上回った。</p> <p><診療実績(4月～12月)></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>R4</th><th>R4計画(4-3月)</th><th>R3</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①経常収支比率</td><td>116.0%</td><td>109.0%</td><td>121.0%</td></tr> <tr> <td>②入院診療単価</td><td>76,662円</td><td>73,000円</td><td>71,760円</td></tr> <tr> <td>③外来診療単価</td><td>23,063円</td><td>23,000円</td><td>21,853円</td></tr> <tr> <td>④給与費比率</td><td>41.6%</td><td>48.2%</td><td>43.3%</td></tr> <tr> <td>⑤材料費比率</td><td>32.3%</td><td>35.1%</td><td>32.1%</td></tr> </tbody> </table>						R4	R4計画(4-3月)	R3	①経常収支比率	116.0%	109.0%	121.0%	②入院診療単価	76,662円	73,000円	71,760円	③外来診療単価	23,063円	23,000円	21,853円	④給与費比率	41.6%	48.2%	43.3%	⑤材料費比率	32.3%	35.1%	32.1%
	R4	R4計画(4-3月)	R3																											
①経常収支比率	116.0%	109.0%	121.0%																											
②入院診療単価	76,662円	73,000円	71,760円																											
③外来診療単価	23,063円	23,000円	21,853円																											
④給与費比率	41.6%	48.2%	43.3%																											
⑤材料費比率	32.3%	35.1%	32.1%																											
C(自己評価の理由)		入院患者・外来患者の増による医業収益の増等から、前年度同様、健全経営を実施できている。																												
A(今後の取り組み)		救急受入れ強化や、在院日数の短縮により、さらなる効率化を目指したい。																												
市のコメント		入院・外来の利用状況に比例して、良好な収支状況である。 引き続き、安定的な経営基盤の確立に努められたい。																												

評価項目	3	必要なスタッフ(医師・看護師等)の確保と人材育成について																																
評価	評価		報告日	自己評価	市の評価	委員会																												
	令和4年度(4-12月)		R5.3.27	9	9	9																												
P(プラン) 令和4年度 事業計画	基本的な医療機能 ①診療機能の向上 ・令和4年4月から常勤医師を121名に増員(前年度比1名増員)																																	
D(実施状況)	<職員数の状況 常勤換算> (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4.12</th> <th>R4.3</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①医師</td> <td>136.76</td> <td>133.20</td> <td>3.56</td> </tr> <tr> <td>②看護部</td> <td>381.95</td> <td>371.20</td> <td>10.75</td> </tr> <tr> <td>③医療技術</td> <td>145.82</td> <td>131.80</td> <td>14.02</td> </tr> </tbody> </table> <研修の状況> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R4研修内容</td> <td colspan="3"> - 医療安全研修 - 院内感染対策研修 - 個人情報研修 </td></tr> </tbody> </table>							R4.12	R4.3	増減	①医師	136.76	133.20	3.56	②看護部	381.95	371.20	10.75	③医療技術	145.82	131.80	14.02		R4	R3	増減	回数	8	7	1	R4研修内容	- 医療安全研修 - 院内感染対策研修 - 個人情報研修		
	R4.12	R4.3	増減																															
①医師	136.76	133.20	3.56																															
②看護部	381.95	371.20	10.75																															
③医療技術	145.82	131.80	14.02																															
	R4	R3	増減																															
回数	8	7	1																															
R4研修内容	- 医療安全研修 - 院内感染対策研修 - 個人情報研修																																	
C(自己評価の理由)	前年度に引き続き、医師等のスタッフ増員を図ることができた。																																	
A(今後の取り組み)	現在、非常勤医の対応となっている診療科の常勤化を図っていく。 令和4年度には常勤の救急専門医を1名確保できたが、引き続き、救急医療体制の強化に努めていく。																																	
市のコメント	医師の増員、継続的な研修による人材育成を行い評価できる。常勤の救急専門医を確保でき、体制強化、スタッフの育成ができる環境になることを、引き続き期待している。																																	

評価項目	4	救急医療体制の整備について																										
評価		評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会																						
		令和4年度(4-12月)	R5.3.27	7	7	7																						
P(プラン) 令和3年度 事業計画		①政策的医療 ②救急医療 ・市内の他の救急告示病院と協力しながら、市外搬送件数の減少をめざす。																										
D(実施状況)		<救急医療実施日> ○内科系・外科系 H30.4より実施(終日) ○小児科 泉州医療圏内で輪番制で実施 実施日:毎週火曜日、第2、4、5土曜日																										
		<救急医療(4-12月)> (単位:人)																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>R4</th><th>R3</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急医療</td><td>10,929</td><td>8,820</td></tr> <tr> <td>うち救急搬送</td><td>2,718</td><td>2,211</td></tr> </tbody> </table>						R4	R3	救急医療	10,929	8,820	うち救急搬送	2,718	2,211													
	R4	R3																										
救急医療	10,929	8,820																										
うち救急搬送	2,718	2,211																										
<市消防本部救急搬送(4-12月)> 搬送率目標28.0% (単位:人、%) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>R4</th><th>搬送率</th><th>R3</th><th>搬送率</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合医療センター</td><td>1,666</td><td>22.8%</td><td>1,390</td><td>22.5%</td></tr> <tr> <td>市内民間病院</td><td>2,924</td><td>40.0%</td><td>2,689</td><td>43.6%</td></tr> <tr> <td>市外医療機関</td><td>2,720</td><td>37.2%</td><td>2,094</td><td>33.9%</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>7,310</td><td></td><td>6,173</td><td></td></tr> </tbody> </table>					R4	搬送率	R3	搬送率	総合医療センター	1,666	22.8%	1,390	22.5%	市内民間病院	2,924	40.0%	2,689	43.6%	市外医療機関	2,720	37.2%	2,094	33.9%	合計	7,310		6,173	
	R4	搬送率	R3	搬送率																								
総合医療センター	1,666	22.8%	1,390	22.5%																								
市内民間病院	2,924	40.0%	2,689	43.6%																								
市外医療機関	2,720	37.2%	2,094	33.9%																								
合計	7,310		6,173																									
昨年度よりも救急件数は増加しているが、市外搬送件数も多い状況であり、当センターの受入件数をさらに増やす必要がある。																												
A(今後の取り組み)		令和4年度から常勤の救急専門医が確保できたことから、更なる救急体制の充実を目指す。																										
市のコメント		病床稼働率が高い反面、緊急入院の受入余地が少ない状況は理解できるが、市外搬送率が減少していない状況を改善するため、今後も救急受入件数を拡大し、市外搬送の減少に取り組まれたい。 なお、救急専門医を確保したことは評価する。																										

評価項目	5	地域医療機関との連携強化について																									
評価		評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会																					
		令和4年度(4-12月)	R5.3.27	9	9	9																					
P(プラン) 令和4年度 事業計画		基本的な医療機能 ①地域医療機関との連携 ・紹介患者の受け入れ、逆紹介に努め地域医療の向上に貢献します。																									
D(実施状況)		<p><取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防のため感染対策を行い、地域の医療機関との連携会を開催した。 また、10月に「和泉の地域医療を考えるシンポジウム」を開催した。 ・地域の医療機関への情報提供を継続実施。 <p>○活動実績</p> <table> <tr> <td>連携会件数</td> <td>2回</td> <td>シンポジウム実施回数</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>地域医療機関向研修件数</td> <td>10回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域医療機関従事者研修参加人数</td> <td>198人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p><紹介率・逆紹介率></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>72.5%</td> <td>68.5%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>91.0%</td> <td>84.5%</td> </tr> </tbody> </table>					連携会件数	2回	シンポジウム実施回数	1件	地域医療機関向研修件数	10回			地域医療機関従事者研修参加人数	198人				R4	R3	紹介率	72.5%	68.5%	逆紹介率	91.0%	84.5%
連携会件数	2回	シンポジウム実施回数	1件																								
地域医療機関向研修件数	10回																										
地域医療機関従事者研修参加人数	198人																										
	R4	R3																									
紹介率	72.5%	68.5%																									
逆紹介率	91.0%	84.5%																									
C(自己評価の理由)	地域医療機関との連携を強化したことから、紹介率・逆紹介率いずれも向上した。																										
A(今後の取り組み)	引き続き、地域医療機関への訪問や意見交換会の開催など、病診連携を強化し、紹介率、逆紹介率向上を目指す。																										
市のコメント	令和4年3月に承認を受けた、地域医療支援病院に相応しい病院として、引き続き、市内医療機関等とより一層の病診連携の強化に努められたい。																										

評価項目	6	高度・専門医療について																			
評価	評価		報告日	自己評価	市の評価	委員会															
	令和4年度(4-12月)		R5.3.27	8	8	9															
P(プラン) 令和4年度 事業計画	急性期病院としての機能強化と充実 ①手術件数 ②地域がん診療連携拠点病院																				
D(実施状況)	<高度・専門医療(各年度4-12月)> (単位:件) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術数</td> <td>2,114</td> <td>1,974</td> </tr> <tr> <td>(うちダヴィンチ)</td> <td>(107)</td> <td>(80)</td> </tr> <tr> <td>放射線治療件数</td> <td>5,386</td> <td>6,101</td> </tr> <tr> <td>化学療法実施件数</td> <td>6,558</td> <td>5,527</td> </tr> </tbody> </table>							R4	R3	手術数	2,114	1,974	(うちダヴィンチ)	(107)	(80)	放射線治療件数	5,386	6,101	化学療法実施件数	6,558	5,527
	R4	R3																			
手術数	2,114	1,974																			
(うちダヴィンチ)	(107)	(80)																			
放射線治療件数	5,386	6,101																			
化学療法実施件数	6,558	5,527																			
C(自己評価の理由)	放射線治療件数は減少しているが、手術数、化学療法実施件数は昨年度より増加した。																				
A(今後の取り組み)	令和4年3月に地域医療支援病院の承認を受けていることから、地域の医療機関と更なる連携を強化し、手術症例の紹介を受けるよう努める。																				
市のコメント	地域がん診療連携拠点病院として、着実にがん治療、がんゲノム研究に取り組み、高度専門医療にも対応している。今後も市民が安心して高度な医療が受けることができるよう、市の中核病院としての役割を果たすよう努められたい。																				

評価項目	7	待ち時間について																
評価	評価		報告日	自己評価	市の評価	委員会												
	令和4年度(4-12月)		R5.3.27	7	7	7												
P(プラン) 令和4年度 事業計画	<p>5 患者サービス向上 ①提案ポストや患者アンケート、待ち時間調査から利用者の意見収集を行い、サービス向上に努めます。</p>																	
D(実施状況)	<p>提案ポストで待ち時間に対する苦情が寄せられた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"><待ち時間苦情件数(4-12月)></th> <th colspan="3">(単位:件)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>待ち時間苦情件数</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>▲ 5</td> </tr> </tbody> </table>					<待ち時間苦情件数(4-12月)>		(単位:件)				R4	R3	増減	待ち時間苦情件数	3	8	▲ 5
<待ち時間苦情件数(4-12月)>		(単位:件)																
	R4	R3	増減															
待ち時間苦情件数	3	8	▲ 5															
C(自己評価の理由)	限られた環境での診療であり、曜日によっては待ち時間が多く発生している。																	
A(今後の取り組み)	スマートフォンアプリと連動した呼び出しシステム「HOSPA」を導入した。引き続き、提案ポストの内容や待ち時間分析を行い待ち時間を短縮できるよう努める。																	
市のコメント	スタッフの日々の努力により以前に比べ、苦情件数は大幅に減少している。「HOSPA」も導入したことから、引き続き、待ち時間を減少できるよう取り組み、満足度のさらなる向上につなげられたい。																	

評価項目	8	職員の接遇について																							
評価	評価		報告日	自己評価	市の評価	委員会																			
	令和4年度(4-12月)		R5.3.27	7	7	7																			
P(プラン) 令和4年度 事業計画	5 患者サービス向上 ③職員の接遇について、研修や個別指導を行います。																								
D(実施状況)	<p>患者アンケート調査による意見の集約を行っている。 提案ポストにしばしば接遇に関する苦情が寄せられており、院内委員会で検討を行った結果、指導、教育の徹底を継続し、接遇の向上を図っている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"><接遇研修の状況></th> <th colspan="3">(単位:件)</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>R4.4</th> <th>R3.4</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R4研修内容</td> <td colspan="4"> ・言葉遣い・敬語・丁寧語 ・認知症、せん妄のある患者に対する接遇 </td> </tr> </tbody> </table>					<接遇研修の状況>		(単位:件)					R4.4	R3.4	増減	回数		1	1	0	R4研修内容	・言葉遣い・敬語・丁寧語 ・認知症、せん妄のある患者に対する接遇			
<接遇研修の状況>		(単位:件)																							
		R4.4	R3.4	増減																					
回数		1	1	0																					
R4研修内容	・言葉遣い・敬語・丁寧語 ・認知症、せん妄のある患者に対する接遇																								
C(自己評価の理由)	接遇に関する指摘は、院内委員会において、情報共有を行い、院内全体の取り組みとして改善を図っている。																								
A(今後の取り組み)	今後も引き続き、院内委員会による研修をはじめとし、指導、教育を継続していく。																								
市のコメント	市事務担当課へ職員の接遇に関する苦情が年に10件程度寄せられている。職員への個別指導や苦情からの改善策の吸い上げにより患者サービスを向上させ、苦情の減少に努められたい。																								

評価項目	9	災害時医療の体制整備について												
評価		評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会								
		令和4年度(4-12月)	R5.3.27	8	8	8								
P(プラン) 令和4年度 事業計画		3 政策的医療 ③災害時医療 和泉市の地域防災計画に沿った体制により、職員研修、訓練を実施、災害発生時には傷病者を受け入れ、状況に応じて被災地への医師・看護師派遣を実施します。												
D(実施状況)		<table border="1"> <tr> <td>災害訓練日時</td><td>令和4年11月8日(火)</td></tr> <tr> <td>参加人数</td><td>45人</td></tr> <tr> <td>参加部署</td><td>医療センター全部署</td></tr> <tr> <td>訓練内容</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間に震度7の地震が発生した想定 ・ 衛星電話、安否確認システムを用いて職員参集及び職員配置、EMISへの入力訓練 </td></tr> </table>					災害訓練日時	令和4年11月8日(火)	参加人数	45人	参加部署	医療センター全部署	訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間に震度7の地震が発生した想定 ・ 衛星電話、安否確認システムを用いて職員参集及び職員配置、EMISへの入力訓練
災害訓練日時	令和4年11月8日(火)													
参加人数	45人													
参加部署	医療センター全部署													
訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間に震度7の地震が発生した想定 ・ 衛星電話、安否確認システムを用いて職員参集及び職員配置、EMISへの入力訓練 													
C(自己評価の理由)	関係機関との連携を図り、災害時医療の体制づくりを図っている。													
A(今後の取り組み)	今後は府や市(保健所)と連携した災害時医療訓練を実施し、課題検討に努める。													
市のコメント	政策医療のひとつとして災害時医療を重視し、取り組んでおり、府や市などの関係機関とより密接、迅速に対応できるよう今後も取り組まれたい。													

評価項目	10	提案ポストや患者アンケート等の意見の対応について																			
評 価	評 価		報告日	自己評価	市の評価	委員会															
	令和4年度(4-12月)		R5.3.27	8	8	8															
P(プラン) 令和4年度 事業計画	<p>5 患者サービス向上 ①提案ポストや患者アンケート、待ち時間調査から利用者の意見収集を行い、サービス向上に努めます。</p>																				
D(実施状況)	<p>入院患者を対象とした簡易なアンケートを実施。提案ポストは意見を2日に1度回収し、院長が迅速に確認できるようにしている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"><提案ポスト・入院アンケート件数(各年度4-12月)></th> <th colspan="2">(単位:件)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提案ポスト投函件数</td> <td>178</td> <td>176</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>入院アンケート回収件数</td> <td>1,785</td> <td>1,736</td> <td>49</td> </tr> </tbody> </table>					<提案ポスト・入院アンケート件数(各年度4-12月)>		(単位:件)			R4	R3	増減	提案ポスト投函件数	178	176	2	入院アンケート回収件数	1,785	1,736	49
<提案ポスト・入院アンケート件数(各年度4-12月)>		(単位:件)																			
	R4	R3	増減																		
提案ポスト投函件数	178	176	2																		
入院アンケート回収件数	1,785	1,736	49																		
C(自己評価の理由)	提案ポスト及びアンケート内容については、確認、反映し、サービス向上につなげた。																				
A(今後の取り組み)	提案ポスト等の内容を委員会で検討し、院内に周知しサービス向上につなげていく。																				
市のコメント	提案ポスト等の要望について、適切な進行管理、迅速な改善対応を行っている。今後も提案ポスト等に限らず、多様な方法で意見集約を行い、サービスの向上につなげられたい。																				

総合評価 令和4年度 (4月～12月)	自己評価	83	合計評価点(83点 / 100点)
	市の評価	83	合計評価点(83点 / 100点)
	委員会の評価		

令和5年度 和泉市立総合医療センター 事業計画書（案）

令和4年度は、前年度に続き、医療スタッフ・事務職員を増員し、積極的に研修医を受け入れ人材育成に取り組むとともに、高度医療として内視鏡手術支援ロボット（ダヴィンチ）を使用した手術の拡大をしてまいりました。

また、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院の承認を受けていることから、さらなる医療水準の向上に努めてまいります。

令和5年度においては、引き続き、医師等スタッフの増員に努めるとともに、救急体制の強化、新たな診療科を創設し、より専門的な手術を含めた診療の実施など医療体制の充実に努め地域医療に貢献してまいります。

1 基本方針

市民の生命と健康を守る公立病院としての使命を果たすため、次に掲げる基本方針に沿って事業運営を行います。

- ① 市民の皆さんのが安心できる、患者さん本位の医療を実践するよう努めます。
- ② 患者さんの権利を尊重した思いやりのある医療人の育成に努めます。
- ③ 地域の中核病院として、質の高い医療を提供できるように努めるとともに、地域医療機関との連携を図ります。
- ④ 市民の皆さんのが安心して生活できるよう、救急医療の充実に努めます。

2 基本的な医療機能

① 外来診療科目(35科) 令和5年4月1日時点

内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腫瘍内科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科、泌尿器科、眼科、婦人科、耳鼻いんこう科、皮膚科、放射線科、精神科、血液内科、内分泌・糖尿病内科、腎臓・透析内科、脳神経内科、緩和ケア内科、肝臓・胆のう・膵臓内科、心臓血管外科、乳腺外科、呼吸器外科、形成外科、消化器外科、リウマチ内科、救急科、リハビリテーション科、麻酔科、病理診断科、歯科口腔外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、乳腺内科

診察日・受付時間

診察日：月曜日～金曜日（祝日を除く）
土曜日診療の実施
年末年始休日 12/31～1/3
受付時間：8:00～11:30

② 病棟編成・看護基準

- 稼動病床数 307 床（ICU8 床、急性期病床 275 床、緩和ケア 24 床）
- 7 対 1 看護基準

③ 診療機能の向上

- 診療体制の充実を図ります。（令和 5 年 4 月の常勤医師 125 名予定）
- 令和 5 年 4 月 1 日から新たに「肝臓・胆のう・膵臓外科」、「乳腺内科」を開設します。
- 国指定の地域がん診療連携拠点病院にふさわしい専門的ながん医療、地域連携協力体制、がん患者への相談支援及び情報提供を充実します。
- 地域医療支援病院の医療連携活動の一環として、研修会等を実施し、高度医療機器の共同利用を行うなど地域医療の資質向上に貢献します。
- 大阪公立大学医学部、近畿大学医学部との連携強化を図ります。
- グループ病院である岸和田徳洲会病院を協力・支援病院とし、バックアップ体制を継続します。

④ 医療・介護連携の推進

- 地域における医療・介護の関係機関が連携することにより、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供することができるよう地域の専門職の相談窓口となり、基幹的な役割を果たします。

⑤ 健康増進の取り組み

- 人間ドック・特定健診などの各種検診の充実を図り、市民の健康維持・疾患の早期発見に貢献します。
- 医師等による医療講演会及び出前講座を行います。

⑥ 医師、看護師等の人材育成

- 院内委員会による研修をはじめとし、指導・教育の充実を図ります。特に、看護師については、基礎教育に重点を置き、新たな教育プログラムを実施します。

3 政策的医療

① 救急医療

- 市内の他の救急告示病院と協力しながら、市外搬送件数の減少を目指します。令和4年度から常勤の救急専門医1名を確保できたことから更なる救急体制の強化を図り、重篤な患者の対応については、引き続き、協力・支援病院の岸和田徳洲会病院（三次救急医療機関）と連携します。

② 小児医療

小児医療及び学童健診に協力をします。また、令和4年10月に地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センターと「地域医療における住民の健康と小児から成人医療に関する連携協定」を締結したことから、さらに質の高い医療サービスの提供に取り組みます。

③ 災害時医療

- 和泉市の地域防災計画に沿った体制により、職員研修・訓練を実施します。
- 災害発生時には傷病者等を受け入れ、状況に応じて被災地への医師・看護師派遣を実施します。

4 建物、設備、器具等の維持管理

建物及び設備、器具等の機能と環境を良好に維持するとともに、施設修繕や医療機器等更新については必要性、緊急性を十分に見極め実施します。

5 患者サービス向上

- 提案ポストや患者アンケートによる待ち時間調査等から利用者の意見収集を行い、さらなる接遇改善に努めます。
- ホームページ、広報等の内容充実を行い、市立総合医療センターの効果的なPRを継続します。
- 職員の接遇について、研修や個別指導を継続します。

6 和泉市立総合医療センター公立病院経営強化プランの策定

令和4年3月29日、総務省から現在の「新公立病院改革ガイドライン」の後継として、新たに「公立病院経営強化ガイドライン」が策定され、病院設置自治体に令和5年度までに「公立病院経営強化プラン」を策定するよう通知がありました。これを受けて、さらなる経営基盤の確立、安定した運営等を行っていくうえで、中核病院として必要な医療提供体制を確保するため、「公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、「和泉市立総合医療センター公立病院経営強化プラン」（令和6～9年度）を策定します。

和泉市消防本部 救急搬送件数(令和4年4月～令和4年12月)

<重症度別>

(括弧内は構成比 単位:人、%)

		死亡	重篤	重症	中等症	軽症	その他	令和4年度合計(A)	令和3年度合計(B)	前年同月比(A)-(B)
市内	和泉市立総合医療センター	27	0	116	221	739	563	1,666 (22.8)	1,390 (22.5)	276 + 19.9%
	府中病院	46	0	236	391	1,082	734	2,489 (34.0)	2,373 (38.4)	116 + 4.9%
	咲花病院	0	0	7	24	38	33	102 (1.4)	92 (1.5)	10 + 10.9%
	光生病院	0	0	23	5	31	47	106 (1.5)	124 (2.0)	▲ 18 ▲ 14.5%
	大阪母子医療センター	0	0	3	36	111	64	214 (2.9)	84 (1.4)	130 + 154.8%
	その他	0	0	1	4	0	8	13 (0.2)	16 (0.3)	▲ 3 ▲ 18.8%
	市内計	73	0	386	681	2,001	1,449	4,590 (62.8)	4,079 (66.1)	511 + 12.5%
市外	岸和田徳洲会病院	8	0	69	84	338	308	807 (11.0)	665 (10.8)	142 + 21.4%
	馬場記念病院	0	0	39	55	187	125	406 (5.6)	269 (4.4)	137 + 50.9%
	ベルランド病院	2	0	29	43	95	132	301 (4.1)	202 (3.3)	99 + 49.0%
	近畿大学病院	0	0	17	21	39	57	134 (1.8)	137 (2.2)	▲ 3 ▲ 2.2%
	堺市立総合医療センター	0	0	19	18	46	58	141 (1.9)	145 (2.3)	▲ 4 ▲ 2.8%
	岸和田市民病院	0	0	17	20	77	58	172 (2.4)	126 (2.0)	46 + 36.5%
	泉大津市立病院	0	0	4	13	45	31	93 (1.3)	64 (1.0)	29 + 45.3%
	高石藤井病院	0	0	4	5	23	7	39 (0.5)	22 (0.4)	17 + 77.3%
	その他	2	0	84	103	170	268	627 (8.6)	464 (7.5)	163 + 35.1%
	市外計	12	0	282	362	1,020	1,044	2,720 (37.2)	2,094 (33.9)	626 + 29.9%
合計		85	0	668	1,043	3,021	2,493	7,310 (100.0)	6,173 (100.0)	1,137 + 18.4%

参考資料2

診療科別 紹介患者数(令和4年4月～令和4年12月)

(単位:人)

診療科名	令和4年度	令和3年度	増減	増減率(%)
消化器内科	1,624	1,463	161	11.0
呼吸器内科	1,406	1,097	309	28.2
歯科口腔外科	974	930	44	4.7
放射線科	1,119	925	194	21.0
整形外科	675	736	▲ 61	▲ 8.3
循環器内科	750	615	135	22.0
耳鼻いんこう科	661	621	40	6.4
小児科	685	556	129	23.2
総合内科	280	519	▲ 239	▲ 46.1
泌尿器科	646	525	121	23.0
肝胆脾内科	469	431	38	8.8
内分泌・糖尿病内科	365	403	▲ 38	▲ 9.4
リウマチ・膠原病内科	337	396	▲ 59	▲ 14.9
皮膚科	371	395	▲ 24	▲ 6.1
脳神経内科	435	377	58	15.4
脳神経外科	324	325	▲ 1	▲ 0.3
外科	342	340	2	0.6
婦人科	362	304	58	19.1
腫瘍内科	371	297	74	24.9
形成外科	279	249	30	12.0
血液内科	167	212	▲ 45	▲ 21.2
呼吸器外科	126	127	▲ 1	▲ 0.8
腎臓・透析内科	100	111	▲ 11	▲ 9.9
乳腺外科	130	109	21	19.3
眼科	85	67	18	26.9
救急科	85	60	25	41.7
精神科	37	42	▲ 5	▲ 11.9
心臓血管外科	32	23	9	39.1
合 計	13,237	12,255	982	8.0

※再診患者を含む。

参考資料3

診療科別 逆紹介患者数(令和4年4月～令和4年12月)

(単位:人)

診療科名	令和4年度	令和3年度	増減	増減率(%)
歯科口腔外科	1,166	1,097	69	6.3
消化器内科	1,150	1,047	103	9.8
整形外科	685	808	▲ 123	▲ 15.2
放射線科	964	794	170	21.4
循環器内科	846	715	131	18.3
呼吸器外科	754	712	42	5.9
呼吸器内科	853	645	208	32.2
総合内科	182	424	▲ 242	▲ 57.1
腫瘍内科	398	402	▲ 4	▲ 1.0
肝胆膵内科	349	361	▲ 12	▲ 3.3
皮膚科	146	293	▲ 147	▲ 50.2
内分泌・糖尿病内科	281	278	3	1.1
脳神経内科	274	264	10	3.8
外科	332	320	12	3.8
耳鼻いんこう科	341	262	79	30.2
脳神経外科	214	248	▲ 34	▲ 13.7
泌尿器科	329	230	99	43.0
小児科	396	131	265	202.3
救急科	190	152	38	25.0
血液内科	120	128	▲ 8	▲ 6.3
リウマチ・膠原病内科	109	93	16	17.2
眼科	101	86	15	17.4
婦人科	54	68	▲ 14	▲ 20.6
腎臓・透析内科	60	54	6	11.1
乳腺外科	77	65	12	18.5
形成外科	19	34	▲ 15	▲ 44.1
精神科	14	27	▲ 13	▲ 48.1
心臓血管外科	9	5	4	80.0
合 計	10,413	9,743	670	6.9

診療科別単価 前年度比較(4月～12月)

(常勤医師配属診療科のみ)

入院	令和4年度	令和3年度
外科	103,145円	95,885円
血液内科	100,697円	88,817円
循環器内科	93,697円	95,270円
婦人科	83,265円	71,180円
整形外科	83,024円	75,522円
泌尿器科	79,964円	72,540円
形成外科	74,861円	62,056円
耳鼻いんこう科	70,210円	65,018円
小児科	67,922円	59,485円
呼吸器内科	66,876円	64,427円
消化器内科	65,110円	62,793円
脳神経内科	63,924円	56,825円
歯科口腔外科	63,071円	59,009円
腫瘍内科	56,090円	55,297円
脳神経外科	55,577円	91,471円
皮膚科	53,175円	49,117円
肝胆膵内科	52,279円	48,447円
リウマチ・膠原病内科	51,309円	48,539円
内分泌・糖尿病内科	46,365円	47,446円
全診療科平均	76,662円	71,760円

外来	令和4年度	令和3年度
脳神経内科	95,689円	95,761円
腫瘍内科	88,307円	70,208円
血液内科	69,515円	70,924円
放射線科	27,328円	27,970円
呼吸器内科	26,771円	25,416円
リウマチ・膠原病内科	25,631円	29,723円
消化器内科	24,165円	23,831円
肝胆膵内科	23,225円	20,871円
泌尿器科	16,156円	15,975円
小児科	15,471円	14,614円
外科	15,451円	14,502円
内分泌・糖尿病内科	15,015円	14,279円
心臓血管外科	12,282円	12,819円
婦人科	12,281円	11,610円
循環器内科	11,359円	11,055円
脳神経外科	9,479円	10,612円
整形外科	8,821円	9,005円
形成外科	8,436円	7,964円
耳鼻いんこう科	8,364円	8,882円
歯科口腔外科	8,189円	7,269円
腎臓・透析内科	8,162円	8,665円
精神科	6,813円	7,173円
皮膚科	5,478円	4,860円
眼科	5,042円	4,864円
全診療科平均	23,063円	21,853円

参考資料5

診療科別待ち時間（4月～12月平均）

(単位：分)

	予約あり		予約なし	
	R4	R3	R4	R3
呼吸器内科	09:23	11:06	23:15	23:14
循環器内科	06:30	08:08	17:03	18:11
肝胆膵内科	11:48	12:11	28:53	30:32
消化器内科	06:53	06:37	25:29	20:56
内分泌・糖尿病内科	04:50	07:54	26:27	20:00
リウマチ・膠原病内科	11:20	08:57	29:36	22:38
腫瘍内科	09:31	07:32	30:07	18:18
血液内科	13:44	12:32	22:21	24:39
腎臓・透析内科	07:26	10:14	18:55	13:10
脳神経内科	09:22	08:44	17:49	14:11
総合診療科	03:49	02:16	21:05	16:41
精神科	19:34	15:30	16:02	21:45
眼科	07:51	06:21	22:23	19:43
耳鼻いんこう科	09:26	10:25	29:35	15:54
外科	消化器外科	06:45	05:53	27:45
	呼吸器外科	03:40	03:14	20:15
	乳腺外科	12:28	09:11	29:20
整形外科	10:37	08:27	22:40	17:04
心臓血管外科	07:49	05:10	13:05	07:56
脳神経外科	10:01	10:25	23:07	19:28
泌尿器科	14:11	09:22	31:43	09:09
婦人科	20:32	13:42	39:14	21:52
皮膚科	07:42	06:11	41:58	17:51
形成外科	13:08	11:14	38:16	38:09
小児科	07:38	04:20	21:18	09:36
歯科口腔外科	08:05	06:08	1:22:16	1:20:59
放射線科	02:51	03:00	26:35	12:56
平均	10:02	08:45	26:58	23:26